



柏ビレジ・ニュース



2001年10月10日

『夏祭り』を終えて

実行委員長 三角純也



今年の夏祭りは、台風一過快晴無風の好天気に恵まれ、またご参集頂いた皆様方も数多く、大いに盛り上がった祭りとなり、まずは成功であったと思います。

これは偏に二十年に渡り築いてこられた諸先輩の経験の賜であると共に、会長以下役員並びに「踊りの会」「子供会」他関係各位の並々ならぬご努力の結実であります。勿論、柏ビレジを愛する皆様方の暖かいご支援も大きな推進力でありました。ここに改めて心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。



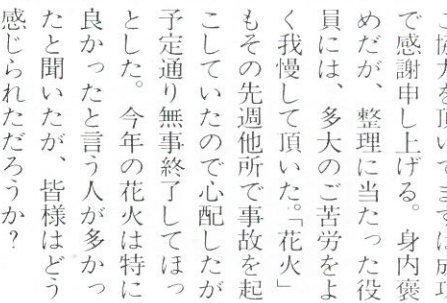
新しく開発された地域の住民は、とかく「ふるさと意識」が薄く、個人主義的



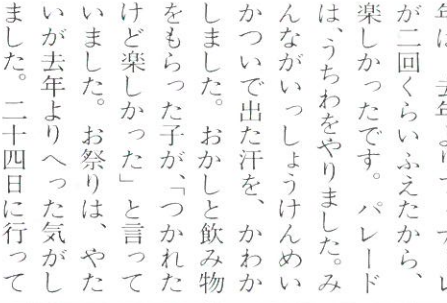
だと言われますが、大輪の花火を仰ぎ見ながら、ここ柏ビレジこそ「我がふるさと」という感慨を改めて抱いた夏祭りでありました。



この良き伝統を次代に引き継いで、益々発展させて頂きたいと存じます。



さて、ここからは実行委員長としてではなく、夏祭りに関わった一個人としての私的感想文を書かせて頂きます。



私は毎年この夏祭りを楽しみにしていた。祭りの最後を飾る花火が消えて行く「今年の夏も終わったな」という往々夏を惜しむ感慨を持ったものだ。自分自身が祭りに関係するとは思っていなかったし、華やかさの裏の役員各位のご苦労など全く思案の外であった。はからずも今年委員となった初めてのそのご苦労を実感した次第である。具体的に申し上げるページ数は無い

ので割愛するが、二十年来の従来との関係各位のご努力と実績に改めて敬意を表しお礼を申し上げます。さて、今年の祭りは幸運にも好天気に恵まれ観衆の皆様も多く、また「盆踊り」も「花火」も華麗で大いに盛り上がったと思う。天気についてであるが台風11号が近づいて来たがすぐ通り抜けると安易に考えていたところ意外に長引き、つい

に時間切れの二日前になつて暴風雨の最中に「櫓」を組まざるを得なくなり大変心配した。しかし幸いにも当日は台風一過快晴無風となり、天に感謝した。

「櫓」は例年の二段と違い一段で見栄えがどうかと思つたが、その分、幅が広くとれて踊り易かったと好評であった。定評ある「踊りの会」の踊りはさすがに見事なもので、日頃の特訓が結果として実っていた。「太鼓の会」

諸君も鮮やかなバチさばきで、いやがうえにもムードを盛り上げた。小学生の参加も多く将来の発展を確約させたと思う。

「子供会」のお母さん方が中心の子供御興・花車も華やかでトップバッターとして、祭りの雰囲気を作りあげてくれた。びっくりしたのは、参加した子供さんの数が予想よりはるかに多かった事で、ここ柏ビレジも他所と同じく高齢者ばかりのゴーストタウン化するのではないかと、近年の不安感を吹き飛ばして、柏ビレジの未来は明るい事を実感させてくれた。

ところで、毎年自転車が増えて勝手に放置するので入・出場の妨げになっているとのクレームが相次いだため今年から「駐輪場」を設けた。歩行者には入り口付近のスペースが広がり、出入りし易くなったと好評であった。また例年通りゴミステーションを設置した上、ゴミの持ち帰りも放送でお願いした。駐輪もゴミもどちらも皆様の積極的なご協力を頂いてまずは成功で感謝申し上げます。身内褒めだが、整理に当たった役員には、多大のご苦労をよく我慢して頂いた。「花火」もその先週他所で事故を起こしていたので心配したが予定通り無事終了してほつとした。今年の花火は特に良かったと言ふ人が多かったと聞いたが、皆様はどう感じられたらうか？

立会人の一人として、真上に大輪の花が開いて頭上に降って来る花火を見ながら、この柏ビレジに住んでいる幸せを改めて噛みしめると共に、外地を含め、方々を渡り歩いて「ふるさと」を持たなかった自分にとって、ここ柏ビレジこそが求めていた「我がふるさと」であると再確認した。

数多くの諸先輩が長年築かれてきたこの良き街割りの伝統を次代・未来世代に引き継いで、この街が益々発展していく事を熱望してやまない。

柏ビレジよ永遠なれ!!

夏祭りの思い出

五十嵐 友紀



今年の夏祭りでは一番心に残ったのは、花火です。今年、去年よりファイナールが二回くらいふえたから、楽しかったです。パレードは、うちわをやりました。みんながいっしょうけんめいかついで出た汗を、かわかしました。おかしと飲み物をもたらした子が、「つかれたけど楽しかった」と言っていました。お祭りは、やた



ないけど、二十五日だけでもすっごく楽しかったです。来年はきつと、もっともりあがって、楽しい柏ビレジ祭りになると思います。

柏ビレジ夏祭りに際し、各方面から御寄付をいただき(四十五万八千円)又、清酒、ビール、うちわ等の御寄贈を賜りました。

御礼を申し上げます。

柏ビレジ商店会・柏ビレジクリニック・タカシマ歯科医院・村田工務店・タグチ電気工事・野口煙火店・富士電工・東急リパブル柏センター・田中農協・美鈴印刷・東武バス西営業所・東急不動産(順不同、敬称略)

その他五十四件の御寄附をいただきました。

誠にありがとうございました。

寄付金
ありがとうございます
ございました

田中まつりを終えて

実行委員長 清塚 洋太郎

柏ビレジ自治会事業部の最初のイベントが、田中住民協議会主催による柏まつり田中地区大会で、今年七月一日田中中学校で開催されました。

事業部全員新メンバーで、勝手が判らないまま、六月二日初回の大会実行委員会を皮切りに、昨年の資料を参考に準備を始め、二十四日実行委員会、三十日自治会役員会で最後の詰を行ない、まつり当日を迎えました。



日となりました。途中から七夕飾りもちぎれるほど、風が強くなり、グラウンドは砂ぼこりが舞う為、時々散水される中、三張りのビレジのテントが一瞬浮上り、ハッとする一幕もありましたが、ズレただけで済み、胸を撫でおろしました。

市立高校吹奏楽部によるアトラクションも交えた見事な演奏が、参加者の拍手を呼び、最後に、踊り会を中心に来場者多数を交えた輪おどりでファイナルを迎えました。なお、今年も子供の七夕飾付けが昨年に続き、賞を獲得、柏ビレジの参加に花を添えました。

振り返ってみますと、準備段階では、経験のない事業部メンバーにとっては、自治会役員他、まつり経験者の方々のアドバイスが、大きな助けとなりました。まつりの参加し物では、踊り会は、県知事賞受賞実績もあり、結成以来の活躍は変る事なく、今年も二十二名の参加。子供会からも計一〇三名、前日からの七夕飾りと手作り御輿の飾付け、当日は御輿二台と担ぎ込み参加町内会の中でも、大勢力を印象付けました。



午後一時から、主催者挨拶、来賓祝辞の開会式に続き、田中中学校吹奏楽部の演奏に始まり、子供御輿入場、各町内会テント前に設置、北総太鼓の音頭による輪おどり、消防団の消火活動の実技披露につづき、子供御輿が元氣な掛声と共に、グラウンド狭しと担がれました。昨年に続き今年も、柏

最後になりましたが、厚くお礼申し上げます。誠に有難うございました。



田中中学校の校庭には、元気いっぱいのかけ声がひびきわたった。私達が、おり紙や丹ざくでかざった笹の葉も、風に吹かれて応援してくれているようだった。おみこしは、暑くてつかれたけど、他のおみこしに負けない様にかんばった。後



ワッショイ ワッショイ

若林 由奈



で、ジュースとお菓子がもらえたので、スペシャルハッピーだった。とっても楽しかった。
一番印象に残ったことは、吹そうがくを聞いたことだ。本当に上手でびっくりしてしまった。来年も、たなばた祭りに行こうと思う。楽しみにだ。

昨年に続き彦星賞 受賞!!



楽しかった七夕まつり

古谷 美智子

七月一日(日)田中中学校庭で行なわれた「柏まつり田中地区大会」を、皆様の御協力のもとに無事終える事が出来ました。

思えば、七夕班の活動を始めたのは五月中旬でした。まず最初にビレジの七夕飾りのテーマを、子供達に夢を育めるような楽しい世界を演出できればと、今年大阪でオープンしたばかりのユニバーサルスタジオにちなんで、ユニバーサルスタジオオアシワビレジ(USSK V)とする事にしました。

前年度のマニュアルを参考にし、御神輿の飾りつけをして、子供達と二回にわたって行なった七夕飾り作りの下準備をしました。

やはり活動の中では子供達と接した時が一番楽しく、年々子供の数が減る中で、沢山の参加は本当に嬉しい事でした。

飾り作りをした子供達の感想を少し紹介します。「じゃばら作りで超大作が出来た。」

「ちよー楽しかった！でも内職的な作業。」

「折り紙できてきとーに折ってもできるもんですね。」

「つかれます。」

「やってくるうちにだんだん楽しくなってきた。」

など子供らしい率直な声が聞かれました。

にそう舟や、やっこさん折ってつなぎ合わせ玉の形にしたり、吹き流しを作

ったり、切り抜いた折り紙を台紙に張って糸でつなぎ合わせたり、子供達は細かな作業を頑張ってくれました。

さて、当日はとも風が強く、前日の予報通り猛暑となりましたが、七十五名の参加があり、二基の御神輿を低学年、高学年が同じはっぴに豆絞りをして、「わっしょいわっしょい」と大きな声で一生涯命かけてくれました。

このような子供達の活躍のお陰で大成功に終わり、昨年と同様「彦星賞」を頂戴する事が出来ました。

最後になりましたが、役員をさせて頂いた時いつも感じる事は、行事に携わる方々のボランティア精神です。その献身的な姿には、頭が下がる思いです。

本当に皆様お疲れさまでした。楽しかったですね。



始まる前にハイポーズ!!



みんないい笑顔!!

ボランティア 最高!!



若林ゆいなちゃん、池田まなちゃん、菅原あさちゃん、藤崎ひかるちゃん、本田みどりちゃん、古谷はるかちゃん、寺田かおりちゃん、富田ちひろちゃん、菅原ひろきくん、藤崎せいやくん、元気をくれてありがとう!

七月のアイビーサロンは花野井小学校の十人の子どもたちが、賑やかに来てくれました。といいますのは去る二月、「えみりーおぼさん、わたし達ボランティアがしたいんです!」そう言

って近所の二人の子どもたちが笑実里に訪ねてきてくれたのがきっかけでした。笑実里のお年寄りは、ひ孫のような子どもたちの突然の訪問をどんなに喜ばれたか、言うまでもありません。また、子どもたちは、ボランティアが何であるかを掴んだようでした。まもなくボランティア最高!とかわいいお手紙が届きました。そして、これからも時々笑実里に行きますのでよろしく、とも。私もこの子どもたちの意欲を叶えるにはどうしたらよいかとうれしく思いを巡らし、夏休みに「アイビーサロン」に来てみてはと提案をしたのでした。三、四人が増えた彼女たちは小学五年生、学校の部活や、それぞれの習い事をこなし、お互いの都合をやりくりしながら時々笑実里に来てくれました。そうしたなかで彼女達はアイビーサロンに出演の準備もして、賛同するお友達が増えたのでみんな行っていいですか? お年寄りの人数は?と聞いてきたりサロンの一週間前にはプログラムを持ってきて、私と打合わせをしたいと、しっかりとっています。私は、七月のサロンの日を楽しみに待ちました。司会も自己紹介もそれぞれ自分達で受け持ち楽しく気持ちよく進行してゆきました。ピアノ伴奏がついたお年寄りの好きな歌がプログラムの中心でした。セッセッセ、パバリ

トセ……「小さな手と手が子どもたちのまわりに舞って、私は涙で子ども達がかすんできました。また、当日、二人の一年生の男の子が、お姉さんたちに言われたのでしよう。お年寄りにプレゼント贈呈のお役を可愛く果たしてくれました。プレゼントは、折り鶴や、細やかに編みこんだサイコロの小箱。集う人以上の数を作り揃えて、サロンのお年寄りの方達は勿論、私たちボランティア

にもいただき感激したのでした。七月の午後のひととき、お年寄りとの交流を見事に果たしてくれた子どもたちに、ありがとうの拍手が満ちて、夏の暑さを忘れさせてくれました。こんな子どもたちが育っている、わが街柏ビレジ、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。

猪早 恵美子
(十の二の九)
デイホーム
笑実里代表



みんなと一っつても上手だね

建築協定委員からの 小さなお願い

柏ビレジも、そろそろ20年。近くの住宅展示場の営業マンの人たちも、ビレジを最重要営業ポイントとしているそうです。そう、柏ビレジの中でも建て替え、増改築などをお考えの方も多くなってきたと、聞きます。そこで、重要になってくるのが、建築協定です。多くの皆様方の賛同をいただき、今年から、新たな建築協定がスタートしていきますが、この建築協定は、建て替えだけではなく、増改築も、もちろん適用されます。もし、万が一、建てた後

に建築協定違反が発覚しますと、協定に沿った形に作り直していただくこととなります。そうなること、大変。そこで、委員会からの小さなお願い!! まず、施工業者、設計者などに対し、各戸に配布されている建築協定書を見せ、この協定書に沿った形でお願いしていただきたい。そして、もう一つ、建築協定委員の方に一報下さい。と、言うのも、委員会としても、建て替え、増改築などに対し、きちんと協定が守られているかどうか把握する必要があります。とこ

ろが、柏ビレジは、あまりに広く、委員だけでは、とても把握することが出来ません。この六月から、建築協定委員会に、建築顧問として有馬立朗建築士をお迎えしました。建築図面が、建築協定に合致していることも、すぐに確認してもらうことができます。この美しいアイビーの街柏ビレジの価値を維持するためにも、是非、ご協力下さい。





支部長だより



柏ビレッジに越して来て、早17年過ぎました。少しは地域のお仕事をお手伝いできるかと、支部長を引き受けましたが、仕事の量の多さに、戸惑いながらの五ヶ月間でした。いくつかの行事にも参加しましたが、役員は準備や後片付けで、本当に大変です。こんなに大きな町なのですから、もっと多くの人達が参加してくれるような、自治会組織になってほしいと思います。

第4支部 岡田育子

入居いらい、初めての自治会役員になり、役員の方がそれぞれの行事に一生懸命に汗を流して、このビレッジ内に近隣の方々と住みやすく努力なさっている様子が分かります。支部長の仕事としてこの五ヶ月、毎週の配布物を班長宅のポストへ投函、返事の要るものについては、期日に間に合うか、イライラして待つ事。防犯灯が消えていないかの夜回り、月末に居住者現況報告、月に一度の集会という所です。各種イベントが、役員だけでなく、たくさんの会員の方々に参加してほしいと思います。

第6支部 徳永直美

秋の気配を感じる季節となりました。支部長の任命を拝し、早半年をむかえようとしています。無我夢中で、あらゆる行事に参加させて頂きました。「年」の重要行事の一つである夏祭りも、事故も無く盛大に終る事が出来、関係者及び参加者の方に深く感謝致します。支部長として、残された日々、東急ビレッジ発展の為、又地域住民の方、一人一人の幸せの為、精一杯、努める覚悟で頑張っております。

第7支部 中村正喜

柏ビレッジに移り住んで丸14年になります。この町が大好きです。しかし、この二、三年の変化は、皆さんもお気づきのことだと思います。今回の夏祭りは盛況で、なんだか嬉しくなってきました。若い世代が多いということは活気がでます。これからこの町がさらに住みよい町になる様、常磐新線が具体的になった今、次世代が戻れる町づくりをそろそろ考える時期になったのではないのでしょうか。支部長という自治会の仕事を通して、最近思いついたことです。

第9支部 菊地裕子

支部長の仕事をして半年が経ちましたが、まず感じたことは、「こんなに回覧物が多かったかな」ということです。ほぼ週に一度、自治会から渡されます。「さあ、始めるぞ」と気合を入れて各班へ配布するための仕分作業を開始します。10支部の皆様は協力的な方ばかりなので、集金やアンケートの回収もスムーズで助かります。役員会に出席してからは自治会本部の方々のご苦勞を知り、以来回覧物は目を凝らして見るようになりました。これからは住民の皆様が声を掛けやすい環境と、ご意見・ご要望に即対応出来るよう心掛けて参ります。

第10支部 山崎敏江

私の一週間は、日曜日の早朝、パソコンに向かうことから始まる。メールの交換、会社の仕事ではなく柏ビレッジ自治会支部長の仕事のためである。

毎週土曜日には、自治会より自治会会員の皆様への回覧・配布書類が支部長に配達される。この書類を支部の各班長さんへ再配達することが、週の始めの仕事となる。

まず、各班長さんへ回覧・配布書類の表題を記載した回覧依頼する文書を作成する。それを各班長毎に名前を変更して印刷する。次に各戸配布する書類は、戸数に合わせて数を間違えないように丁寧に数えて、回覧書類及び回覧依頼書と一緒に輪ゴムでまとめる。雨が降っている日は、濡れないようにポリエチの袋に入れる。一連の準備作業が終わると、バイクに乗って各班長さんの家に配達する。時には大きな犬に吠えられ、泥棒と間違えられることもある。

依頼文書作成から配達を終えるまで約1時間、朝7時頃終了する。これが今年の4月より今日まで懇請されてなった支部長の重要な仕事の一つである。

この他毎月1回の自治会役員会議、月末の居住戸数現況報告等定常業務に加え、苦情処理や夏祭り、運動会等の催し物への参加等非定常業務もある。

柏ビレッジに越してきて14年、何とか避けてきた自治会役員であるが、今年は運が尽き、支部長を仰せつかった顛末である。私は柏ビレッジ自治会の小さな歯車の一つに過ぎない。譬えて言えば、時計の日付を変える1日に1回しか廻らない歯車程度である。これに比べ会長さん、各部長さんは長針、短針を廻す歯車のように、常に活動されている。その苦勞には想像を絶するものがある。会長・部長さんに感謝の意をこめ、更に会員の皆様に自治会諸活動に積極的に参加されることをお願いし、私の支部長所感とします。

第8支部 倉田賢治

支部長として、5ヶ月間の仕事を通して感じた事を書きたいと思います。

まず、回覧の回数と量の多さに驚きました。

第1支部は、イタリアの国のように長い地域のため、車で各班長さんに配ってまわります。

これから老化の一途をたどろうとする柏ビレッジ。この大量の回覧を、この状態のまま続けるのでしょうか。

今までやってきた事を改める事は、勇気を必要とし、面倒な事でもあります。

しかし、是非解決して欲しい問題です。

第1支部 筒井多恵子

前任の鈴木様からバトンタッチして、早半年がたとうとしています。職場と家の往復で、地元に疎い私ですが、これを機に少しでも地域にお役に立てればと、楽しみながら仕事をしております。日頃留守がちな為、班長さんにはご迷惑をおかけしていますが、時折交わすおしゃべりに、地域の中で生きている実感が持て、心和むひとときです。次に心に残ることは、行事では、女性用に体にやさしい仕事がまわってくることです。ラッキー！また、様々な立場の方と同じ仕事をするこも、新鮮で興味深く、社会勉強になります。感謝！

第2支部 立林紀世子

支部長の任期も半ばをすぎ、主な仕事である回覧物の班長さんへの配達も、さすがに要領を得、時にはワンちゃんに吠えられ、ムツとしながらも、半分おぼさんバイク便気分、支部内を走り回っております。現在までのところ、支部内の方からは、この7月に空巢被害の連絡を受けておりますので、ご報告したいと思います。日中、リビングのガラスを割られ、侵入先のお宅のカバンに現金、商品券、宝石等を詰め込んで持ち去られたとの事。拙宅も、ビレッジに居住して、過去二回の被害実績(?)があり、役目上、集金された金銭を預かる折もありますので、とりあえず任期中の進入はご遠慮願いたいところですが、自治会の様々な行事の流れの中でのお手伝いも、思いの他楽しんでおります。来春までよろしくお付き合い下さいませようお願いいたします。

第3支部 西尾百合子

支部長をお受けして半年、当初不慣れで戸惑いました活動にも時間の経過と共に少しずつ慣れて参りました。5支部は、ヴィレッジのほぼ中央、信号から水辺に向かって右、碁盤の目を長方形に区切った形に在ります。回覧物のお届けなどで、都度親しみを重ねる気持ちが増します。夫々、家の数だけ、夫々の考えも有り、等しく喜びも悩みも有りますが、違うことの認識から理解へ、理解から尊重への過程で活動する限り、きっと住み良い街が出来るとおもいます。この恵まれた「季節の謳う」環境を大切に、小さなお役に立って行きたいと願っています。

第5支部 立林由り
